

そうきやり
あんだえ
うったらそい

鈴木法衣店の
お得な商品情報誌

54

2021年7月発行 盛夏號



Contents

- P02 スペシャルインタビュー お寺、拝見 <bar/studio 祇園舎>
P07 特集 盛夏納涼 絹糸紗・本麻シルク袷装／絹緞糸直裾
P25 特別企画 Premium selection 特選逸品



- P33 鈴木法衣店オリジナル 丸織袷装
P35 大好評企画! 糞掃衣
P39 抗菌防臭加工 七條・折五條袷装
P41 WEB連動企画 ほり出し物市 10%還元WEBクーポン進呈!
P63 お仕立て済み法衣
P79 夏のおすすめ 記念品
P86 お悩み解決Q&A 「vol.2 夏のお衣の管理」

Information

未使用品に限り 無料で返品可能

当カタログ掲載の商品は、ご購入後でも
未使用品に限り、商品到着後から1週間
以内であれば無料で返品を承っております。
安心してご注文いただけますので、
お気軽にご自坊でご試着ください。

プロにお任せ! 法衣のお手入れ \ WEBからのご注文も可能! /

鈴木法衣店はお客様の大切な御袷装と御衣を、より長く、気持ち良くお召しいただけるよう、必要な修理やアフターケアのお手伝いをする事に専心しております。宅配(送料無料)や他社製品も対応可能!お気軽にご相談ください。

クリーニング

染め直し
(色上・染替・洗張り)

修理

裏地替え
(袷装のみ)

◎お気軽にご相談ください!
0120-55-0369
鈴木法衣店 検索
https://www.suzukihouiten.jp

スマホの方は
こちらから



撮影: 遠藤正二郎

お寺、拝見

スペシャル
インタビュー
vol.18

バーカウンターから激アツ法話を生配信
— 宗派を越え、お寺を超える仏教空間 —

bar/studio 祇園舎 (京都市中京区)

お寺にお邪魔してお話を伺うシリーズ「お寺、拝見」。
テーマは前回同様「コロナ禍中での取り組み」ですが
今回はお寺ではなくバー! 町家を改装したスタイリッシュな空間で、
僧侶が接客するというユニークなお店。
一体どんな取り組みをされているのでしょうか。
オーナーの福井文雄(ふんゆう)さんに伺いました。

日替わりマスターはお坊さん

京都市中京区、四条堀川にある築120年の町家。夕方、軒先に看板が出たらオープンの合図。扉を開いて細長い廊下の向こう、町家独特の急な階段が現れます。階段を上って靴を脱ぎ、店内に入れば、ベージュ(土壁と木)とグレーを基調にしたシックな空間が広がります。

店構えは至って普通のバーですが、カウンターに立つ人が日替わりで、殆どがお坊さんと聞けば驚くのではないのでしょうか。「相談・坊」「禅僧ナイ

ト」「僧音:僧侶の音楽会」「京都・タヤけ仏教」など、お酒を飲みながら仏教に触れることのできる空間、それが「bar/studio 祇園舎」なのです。



撮影: 松村康平

オリジナルのノンアルコールカクテル
「ガンバリソーダ」。
ラムネ好きの僧侶のために作られたそう。



お店誕生物語～祇園から移転・2軒の坊主バーが集結

祇園の音楽バーを引き継いで

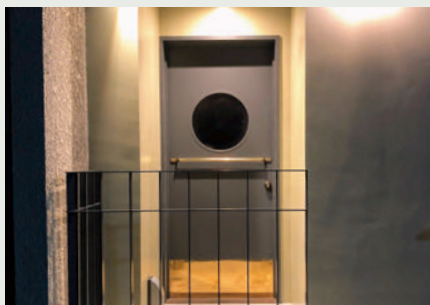
オーナーの福井文雄さんは、僧侶でITメディア制作会社の経営者でもあります。昼間は会社業務をこなし、夜はバーを切り盛りしています。バーの開業日は2020年12月8日、つまりコロナ禍中での開業です。どんな経緯があったのでしょうか。

まず、このお店が出来る2年前(2019年)の4月8日、祇園にあったミュージックバーを引き継いだんです。経営者の方がご病気で「よかったら引き継いで欲しい」と言われたのがきっかけです。以前からのお客さんに遠慮しながら週1回だけ「傾聴僧の会」をやり始めたんですが、そのうち「祇園坊主バー」としてお坊さん一色に(笑)。

「坊主バー」とは、1992年に大阪の浄土真宗の僧侶が始めた「お寺で語る会(聞思会)」から生まれたバーのこと。日替わりでお坊さんが話し相手になってくれることで話題を呼びました。現在は東京に坊主バー四谷店と中野店、京都に「SAMGHA」と「祇園舎」などの店舗があります。

「SAMGHA」は、なんと同じ建物の1階に。つまり、この町家は1階2階ともにお坊さんによるお店なのです。

京都坊主バー(現「SAMGHA」)は2020年の秋10周年を迎えました。その頃、僕の方はコロナ禍が長引くと思ったので、祇園の店を閉めてたんです。SAMGHAの2階が空いてるので、どちらも坊主バーだったら面白いじゃないかと思って(笑)、SAMGHAのオーナーに相談して、移転しました。



2軒の「坊主バー」。1階は「SAMGHA」、建物左側の階段を登って2階が「祇園舎」

祇園舎

京都・撮影スタジオ KYOTO Gion Bar Studio

日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	

サイトに公開されている祇園舎のグーグルカレンダーで
日々の予定がわかる

立ち上げの思い 宗派を越えた「萬法一如」の空間に

日替わり僧侶は約20人。予定表からもバラエティ豊かな様子が伝わってきます。

月曜が傾聴僧の日、火曜が「京都・タヤけ仏教」という勉強会、木曜が「僧音」と言って音楽の日。宗派もテーマも様々で、月1回「神主ナイト」もやっています。

賛同と同時に批判的な声もあるのでは…

「僧侶が酒を出すのか」と批判する人もいますね。一応ここは坊主バーですが、お店の名前は坊主バーと謳わず「祇園舎」にしました。「坊主バーを超えて行け」って言ってるんですよ(笑)。

「萬法一如」とは禅宗の言葉ですけど、様々な宗派の人が繋がっていく空間があってもいいと。

大乘仏教は救済の視点があるわけで、基本はそれなんですよ。傾聴僧が話を聴くことで力になれる。自死の問題に取り組む僧侶も、周りから「夜バーに行ってる」なんて言われたら来にくいですけど、自死防止の活動をしていて、その延長線上にここがあったら、周りも文句言わないですよ。

カウンターに立つ人は「話が聴ける人」

祇園舎の日替わりマスターとなる僧侶はどのように集められたのでしょうか。

募集はせず、僕がこの人と思う人に声をかけています。基準ですか？あまり定式化してないのですが、多分「色々な人の話を聴ける人」ですね。傾聴僧は全員、準備講座と本講座、レポート課題を終えた人たちです。バーカウンターで話を傾聴しますが、テーブル席で個別相談にも応じています。

店も人材も維持するのは大変なことだと思います。

コロナ禍で、月間スケジュールを書いては消し、書いては消し、でした。バーという業態で20時までの営業時間では厳しいですね。今はひたすら維持するしかないというか…。

会社の業務で撮影スタジオが欲しかったので、昼間はスタジオとして使っています。東京のバーでもネット放送のスタジオとしてお店を貸しているところがあります。お店が専業だったら続かないですね。最初は仕事を減らして趣味半分でも思っていたけれど、無理ですね～(笑)

禅僧ナイト(この回は「若き禅僧の修行」を解説) 撮影: 福井文雄





コロナ禍での取り組みレポート 法話を生配信！

■「京都・夕やけ仏教」(勉強会)

YouTube、ZOOM、Facebookで同時生配信

取材日の演題は「『善導・二河白道の世界』親鸞聖人七高僧を訪ねる旅vol.5」で、講師は真宗大谷派・玄照寺住職・瓜生崇(うりうたかし)さん。ユーザーの便宜を図り、YouTube、ZOOM、Facebookの3つから視聴可能に。



情熱的でグイグイ引き込まれる瓜生さんの法話。「この勉強会やネットで話すためにめちゃくちゃ勉強している!」と僧侶仲間からも称賛の声が上がっていました。

■ ネット法話実践者の声(瓜生さん)

「コロナ禍になってから対面で法話が出来なくなったので、ネット法話を月4回くらいのペースで始めました。檀家さんや全く知らない人も見てくださっているようです。初めはSNSで宣伝していましたが、YouTubeのチャンネル登



瓜生崇さん

録者が増えて、宣伝しなくても見てくださるようになりました。

対面の時と同じで、思いのまま、話したいことを話します。パワーポイントを使うなど視覚的に伝える工夫もしています。

癌で入院を繰り返している方から、ネットで見られてよかったという手紙をいただいて、お寺に来たくても来れない人がたくさんおられることに気づかされました。ネットはネットの良さがあるので、コロナが収束しても続けるしかないかなと思っています」



瓜生崇さんの著書(左2冊)
右はスタッフ・光澤裕顕さんが今年上梓した本。

集客手段は口コミとネット 居心地の良さをリピーターが

新店舗は集客が肝心。どのような方法で？

主にフェイスブックのイベントページでの告知と、それぞれの僧侶の知り合いのお客さんが来てくれますね。1階のSAMGHAは、中国のネットテレビで放送されたので、コロナ以前は海外の人で賑わっていました。

新しいお寺の形

福祉などの分野では支援が届いていないところへ出向いていく「アウトリーチ」の方法が取られます。同じように、このバーも「仏教のアウトリーチ」と言えるのではないのでしょうか。福井さんに尋ねると、次のような答えが返ってきました。

アウトリーチというより、ここがすでに新しいお寺なのではと思っています。従来のお寺の文化に拘らず、求められるお寺の形があってもいいのでは…なんて言う物議を醸しそうですが…。

お客様の声

「最初は好奇心で来店。楽しかったのでちょくちょく立ち寄るようになって、もう家みたいです(笑)」
(30代 女性)

「普段お坊さんと話す機会がないし、話してみたいなと思って。毎日雰囲気が変わるのが面白い」
(40代男性)

スタッフの声

日替わり僧侶

おかはしだいこう
岡橋大航さん
浄土真宗本願寺派
僧侶(布教使)。



「仏教の要素を取り入れた意欲的なお店で、もはや生きがいです(笑)。ここがきっかけでお寺にお参りに来てくださることが何より嬉しいです」

配信担当

やまだ はくまい
山田白米さん
三味線奏者、唄。
「『僧音』の番外編



に出させてもらっています。もともと機械が好きなので、配信作業は楽しいです。今日はカメラを3台使って切り替えながらやってみました」



ネット法話生配信の準備



投げ銭システム「Square(スクエア)」で寄付を受付



配信後はYouTubeでアーカイブ公開

【お話しくださった人】

bar/studio 祇園舎

ふくい ぶんゆう
福井文雄さん

僧侶・
ITメディア
プロデューサー



1956年金沢市生まれ。真宗大谷派僧侶、傾聴僧の会。大谷大学仏教学科卒。医師団体勤務を経てIT&メディア制作会社、日本初のNPO放送局設立など市民とメディアの分野で活躍。傍ら京都仏教文化フォーラムなど仏教と市民を結ぶプロジェクトを進める。本人は"無"が好きらしい…。

information

bar/studio 祇園舎 (ぎおんしゃ)

- 所在地/〒604-8237
京都市中京区蛸薬師下る山田町526
*油小路通錦小路通上る
(堀川高校の裏手、元本能寺の南)
- TEL(予約) 075-252-3180
- 19:00~24:00
(23:30 L.O.)
日祝休
*緊急事態宣言等による変更は要確認

web

<https://gionsya.com/>

e-mail

info@gionsya.com

公式サイト



(取材：2021年5月 加藤わ呼)